

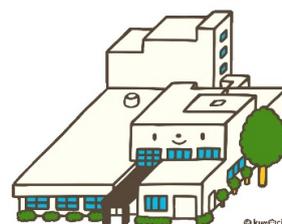
# West Library

千葉県立西部図書館だより

2018年 3月 第66号

## 西部図書館実施予定の主催事業について

～平成30年度西部図書館事業計画の一部をご紹介します～



### 一般向け講座（参加費無料）

- 6月 「健康・医療情報講座」
- 7月・10月 「書庫見学・菜の花ライブラリー活用講座」
- 10月 サイエンス・カフェ

<内容や時期は3月現在の予定です。詳細が決まり次第、ちらし・ホームページ等でご案内します>

### 図書館利用に障害のある方への支援事業

西部図書館では、視覚に障害のある方へ、「録音図書」の郵送貸出や対面朗読を行っています。

平成30年度は録音資料製作と対面朗読を行う音訳者（朗読者）を新規に養成するための、初心者向けの講座を開催します。

<開催予定>説明会：7月 講座：9月から2月にかけての連続講座（2年）

詳細は、チラシ、ホームページ等でご案内します。

<30年度開催講座>

「障害者のための資料デジタル化講座」「図書館音訳者養成講座」「障害者のための読書支援機器活用講座」

### 市町村及び県立学校の図書館支援事業

お探しの本や雑誌をお近くの公立図書館などへ取り寄せることができます。

引き続き県内図書館等への支援事業の一環として、関係職員のレベルアップ研修会や県立学校図書館への読書支援等に努めます。

<30年度事業> 資料調査、図書館の運営相談、資料搬送、図書館担当者向け研修会、等

## やさしい利用案内をつくりました



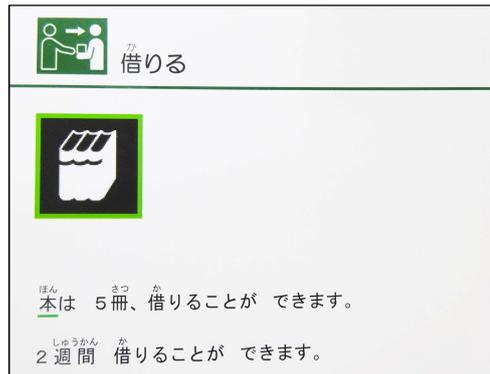
タイトルの「やさしい」とは…

ご高齢の方や母語が外国語・手話の方、読み書き障害などのある方にもやさしくわかりやすいように作られた図書館の利用案内です。

- 文字が大きく、ルビが振ってある
- 記号や絵文字を使い、イメージしやすい
- 易しい日本語で文章が簡潔になっているなどの工夫がされています。

すべての人に図書館を利用してもらいたいという願いから作りました。一般の方向けのほか、図書館利用に障害のある方向けのものもあります。1階、2番の棚（障害者サービス紹介コーナー）にあり、お持ち帰りいただけます。※千葉県立図書館ホームページから、インターネット上でもご覧いただけます。

〈実際のページ〉



## 対話支援スピーカー「コミュニケーション」を設置しました

コミュニケーションってなあに？

「話し手が付属のマイクで語りかけることで、軽度の難聴者の方や、補聴器を装着している難聴者の方への聴こえを改善し、コミュニケーションをサポートできるシステム」です。大声で会話をしなくてよくなります。カウンターにありますので、ご利用になりたい方はどうぞ職員にお声かけください。



繭のような形のスピーカー

豆知識

「Comuoon (コミュニケーション)」とは、「Communication (コミュニケーション)」と「Cocoon (繭)」の造語。

「健聴者と難聴者、中途失聴者の方とコミュニケーションを楽しんでほしい」、「全く新しい聴こえの形が生まれた」という意味が込められています。



## 読書支援機器活用講座を開催しました

西部図書館では、活字による読書が困難な方やその支援者の方等を対象に、読書支援機器等の最新情報や活用方法を、体験を交え紹介する講座を開催しています。

今年度は、ICT を活用した街づくり事業の取り組みや、携帯情報端末を使用した情報入手の方法について、東京大学・スタンフォード大学名誉教授の釜江常好氏にご講演いただきました。

講座では視覚障害者をサポートするスマホの機能や、撮影することで品名やメーカー名等の情報を読み上げる商品認識アプリが紹介されました。

また、西部図書館に設置している各種読書支援機器について紹介いたしました。

- 音声読み上げ・画面拡大対応パソコン※  
(録音図書や電子書籍・点訳データの閲覧ができます)
- 拡大読書器  
(文字の拡大、白黒反転などができます)
- 音声読書器  
(原稿を読み取り合成音声で読み上げます)
- 各種デジタル録音図書再生機器※  
があります。

※印は事前にお電話などでご予約ください。



当館職員による説明の様子

## 特別支援学校への訪問読書支援を行いました

平成 25 年 (2013 年) から、職員が特別支援学校を訪問し、学校図書館の運営相談や、読み聞かせ・手遊びを行う訪問読書支援事業を行っています。

本年度は9校を訪問し、大勢の子どもたちや先生方に物語の世界を楽しんでもらうことができました。



おはなし会の様子

読み聞かせに使用した絵本(一例)  
おおきなかぶ、おじさんのかさ、  
へんしんトンネル、もりのおふろ、  
めっきらもっきらどおんどん、  
ぐるんぱのようちえん、  
まどから☆おくりもの、  
でんしゃでいこう  
でんしゃでかえろう、など。

# おかげさまで開館30周年

昭和62年7月1日に開館した千葉県立西部図書館は、おかげさまで開館30周年の節目を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

図書館では、これまでのあゆみを振り返る資料展示とともに、当館の取組をより知っていただくための体験イベントや講座を開催しました。

## 10月6日(金) バリアフリー図書体験

開館以来、積極的に取り組んでいる障害者サービス。障害のある方でも読書できる大活字本、点字資料、布絵本などのバリアフリー図書を展示するとともに、録音図書の製作、マルチメディアデージー図書、活字読み上げ機器、拡大読書器や点字打ちの体験を行いました。



## 10月7日(土)

### 記念講座「東葛を旅した人々～桃林・桜雲を愛でゆく日々～」

当館では、所蔵資料の特色を活かし「サイエンスカフェ」など自然科学・工学をテーマとした講座を例年開催していますが、今年度は30周年を記念し、また、地域を知るということを主眼に東葛をテーマにした講座を開催しました。講師は、千葉県立中央博物館 主席研究員兼歴史学研究科長の内田龍哉氏。文人たちの作品を通じ、当時の風景等を紹介しながらの解説は興味深く、充実した楽しい時間となりました。

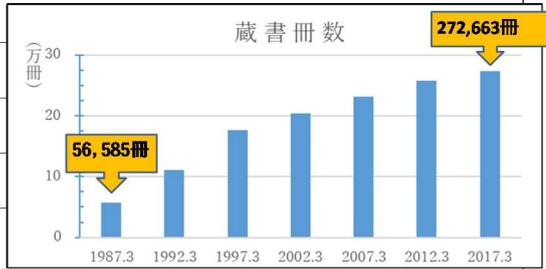
## 10月8日(日) 書庫見学会

普段は入ることのできない書庫を見学していただきました。ほとんどの資料は永年保存していること、視聴覚、マイクロフィルムといった多様な資料、書庫内の古い資料が利用されている状況などを職員が説明しながら書庫を案内しました。

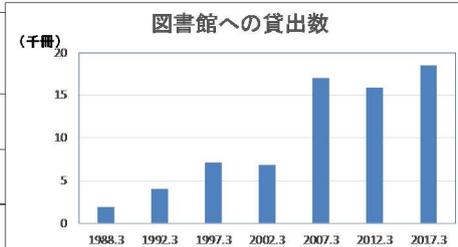


# 西部図書館30年のあゆみ

年	管内図書館の新設	西部図書館
1987 (昭和62)		7月 開館 電算システム稼働 11月 図書館朗読者養成講座開催(全6回)
1989 (平成元)	野田市立南図書館	
1990 (平成2)	野田市立北図書館	
1991 (平成3)	船橋市北図書館	6月 書庫棟増築関連工事着工 複写料金変更(白黒30円→10円)
1992 (平成4)		8月 閲覧席を増設(36席→168席) 9月 書庫棟増築(収蔵冊数16万→50万) 10月 利用者用電算端末機(4台)設置
1993 (平成5)		3月 書誌データベース(Welcome)CD-ROM版発行 4月 県立図書館 日曜全日開館スタート
1994 (平成6)	市川市中央図書館 印西市(市)立図書館 白井町(市)立図書館	10月 駐車場改修工事完成(17台→33台)
1995 (平成7)		1月 兵庫県南部地震被災者救援チャリティー 2階の視聴覚ブースを1階に移設 ランチハウス設置
1996 (平成8)	流山市立北部地域図書館 (流山市立森の図書館)	3月 ボランティアの受入開始
1997 (平成9)		4月 電算システム更新
1998 (平成10)		4月 個人貸出冊数を2冊から5冊に (11月 県立東部図書館開館)
2001 (平成13)		4月 県立図書館ホームページ公開 協力車が県内全市町村へ巡回
2002 (平成14)		7月 入館者数300万人突破 4月 祝日開館スタート 12月 管内高等学校図書館へ協力車巡回開始
2003 (平成15)		6月 メールレファレンス(試行)開始 10月 蔵書冊数20万冊突破
2004 (平成16)	野田市立せきやど図書館	10月 インターネット環境の整備 (利用者用16台、持込用7席)
2005 (平成17)		3月 入館者数400万人突破
2006 (平成18)		4月 ないーぶNetの導入 11月 図書館ボランティア研修会実施
2007 (平成19)		2月 統合電算システム稼働、インターネット予約システム開始、インターネット席24台へ 7月 開館20周年記念事業開催
2008 (平成20)		2月 行政支援サービスを開始 4月 相互協力支援システムを本格実施
2009 (平成21)		3月 まなびトーク第1回開催 6月 入館者数500万人突破
2010 (平成22)		7月 国民読書年「千葉県らしさ」が表れている図書を募集(1,390冊) 7月 千葉大学附属図書館との相互協力を開始 8月 サイエンスカフェ第1回を開催
2011 (平成23)		3月 東日本大震災による臨時休館。節電のため開館時間を一時短縮 3月 「県民の本棚〜であい、ふれあい『ちばの100冊』〜」を公表
2012 (平成24)	流山市立木の図書館	11月 電算システム更新 11月 公衆無線LAN導入
2013 (平成25)		3月 国立国会図書館歴史的音源サービス参加 4月 休館日を変更し、開館日数増加
2014 (平成26)		1月 入館者数600万人突破、国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービス参加 2月 「医療・健康情報コーナー」新設 3月 国立国会図書館視覚障害者用データ送信サービス参加 特別支援学校への訪問による読書支援開始
2015 (平成27)		6月 まちの保健室 開催 8月 活字資料のテキストデータ化サービス開始
2017 (平成29)		10月 開館30周年記念事業開催



蔵書数は約5倍に!



○図書館への貸出数(約9.5倍)  
1,931⇒18,422(冊)

貸出先は市町村立図書館・公民館図書室だけでなく学校図書館へも広がりました。



# コンピュータシステムが新しくなりました！

昨年10月27日より、県立図書館のコンピュータシステムをリニューアルしました。資料検索画面のデザインが一新されるなど、より使いやすくなりました。ここでは新たに追加された機能の一部をご紹介します！

## 1、直接予約（いますぐ予約）が追加されました。

検索結果一覧に「予約」ボタン、書誌詳細に「いますぐ予約」ボタンが追加されました。これにより予約カート画面を表示せず、すぐに予約を完了することができます。

検索結果一覧

書誌詳細

予約確認

※インターネット検索から予約をするには最初にパスワードの設定が必要です。詳しくは県立図書館までお問い合わせください。

## 2、スマートフォン向け専用画面ができました。

新たにスマートフォン対応の画面を作りました。

資料検索では、スマートフォンでの操作を考慮した画面となっています。

トップ画面

資料検索画面

### 編集後記

春は新しいスタートの季節です。開館から30年、当地で市町村立図書館支援や障害者サービスの推進に取り組んできた西部図書館も、新たな一步を踏み出します。初心者向け音訳者養成講座の開催など、県立図書館機能の強化を進めてまいります。

West Library 千葉県立西部図書館だより  
発行日：平成30年3月10日  
編集：千葉県立西部図書館  
〒270-2252 千葉県松戸市千駄堀 657-7  
Tel.047-385-4133  
<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>  
ISSN:0918-7383